

# 加須市地域福祉計画（第2次）・ 地域福祉活動計画の進行管理調書 【令和元年度の実績と評価】

令和2年9月

地域さえあいプラン ~ともに生き、ともに支え合うまち かぞ~

## 目 次

1 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の状況報告について	1
2 評価基準について	1
3 令和元年度 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の進捗状況について	3
4 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画進行管理表【令和元年度】	3
5 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）	
基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり	7
基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり	10
基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり	13
基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり	17

## 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の状況報告について

「加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画」（平成29年度～令和3年度）は、これまでの地域福祉分野における取組等を踏まえ、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう、「ともに生き、ともに支え合うまち かぞ」という基本理念を掲げ、地域全体が協働して福祉活動に取り組むための指針として、市の「地域福祉計画（第2次）」と、地域福祉推進における民間組織の中心的な担い手である社会福祉協議会が、地域福祉の活動・行動を定める「地域福祉活動計画」とを、一体的に取りまとめ策定したものです。

本計画を総合的・計画的に推進するためには、計画の進捗状況について、定期的に調査・把握し、その達成状況を確認していく必要があります。

そのため、計画策定時に設定した目標値などをもとに、各年度においてその実施状況を確認し、着実な推進を目指していきます。  
なお、この報告は、本計画「第5章 計画の進捗管理・評価」に基づき公表するものです。

### 評価基準について

#### 1 各事業（取組）の達成度評価基準

《評価基準》各事業（取組）の実施状況及び事業実施による効果として、成果指標の達成状況により評価を行う。

評価の区分		達成度評価基準
1	目標を達成	当該年度に実施すべき取組を予定どおり、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成したものをいう。
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組を円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組を行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の50%未満となったものをいう。
5	未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。

## 2 基本目標レベル（大分類）での達成度評価基準

《評価基準》各事業（取組）の達成度評価の結果を基に、次の評価基準で判定する。

評価の区分	達成度評価基準
① 計画どおり達成できた	基本目標に係る全ての事業（取組）において達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」であった。
② 概ね達成できた	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%以上であった。
③ やや達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%未満であった。
④ 達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が50%未満であった。

## 3 計画全体の成果判断基準

《評価基準》基本目標レベル（大分類）の達成度評価の結果を基に、次の評価基準で判定する。

評価の区分	成果判断基準
A 非常に成果があった	全ての数値目標が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなされる場合。 「大いに成果が得られたとみなせる」とは、設定した全ての数値目標の実績値が目標値を100%以上達したものという。
B 相当程度成果があった	一部の数値目標が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合。 「概ね成果が得られたとみなせる」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の80%以上達したものという。
C 成果があった	数値目標の達成状況は芳しくなかったものの、取組として前進したとみなせる場合。 「数値目標の達成状況は芳しくなかった」とは、数値目標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
D 成果がなかった	数値目標の実施値に大幅な乖離があり、取組として前進したとは言い難い場合。 「数値目標の実績値に大幅な乖離がある」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の50%未満となったものをいう。

## 令和元年度 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の進捗状況について

加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画は、市が市民と協働して、地域で行う取組の方向性や基本的な考え方を示し、今後、施策を展開、推進していく上での基本的事項を定める役割を担うとともに、地域の人々が抱えているさまざまな福祉課題を地域全体の問題としてとらえ、皆で支え合い、学び合いながら、その人らしく住み慣れた地域で暮らさせることを目指して、地域、行政、関係機関・団体と連携しながら、各種の地域福祉活動を展開していくための指針となっています。

本計画期間の3年目(中間期)である令和元年度は、「目標を達成した事業」及び「概ね達成した事業」は、計画内事業全体の約57.7%という結果になりました。

そのほかの約42.3%は「やや遅れている事業」及び「大幅に遅れている事業」であることから、今後十分な成果が得られるよう、懇話会委員の皆さんなどから広く意見をうかがいながら、更なる事業の推進を図ってまいります。

### 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画進行管理表【令和元年度】

1 評価結果の概要 評価基準の評価区分ごとの項目数、割合は次のとおり。

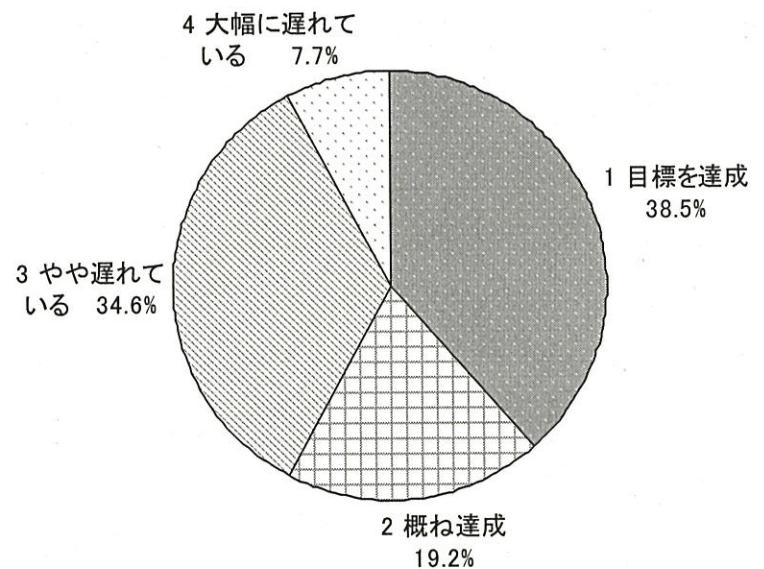
施策	令和元年度の評価		単位	1 目標 を達成	2 概ね 達成	3 やや遅 れている	4 大幅 に遅れて いる	5未着手	合計		
	基本目標レベル評価	「1 目標を達成」 及び「2 概ね達成」 の割合									
基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり	③やや達成できなかった	66.6%	項目数	2	2	1	1	0	6		
			割合 (%)	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	100.0		
基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり	④達成できなかた	16.7%	項目数	0	1	4	1	0	6		
			割合 (%)	0.0	16.7	66.6	16.7	0.0	100.0		
基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり	③やや達成できなかった	71.4%	項目数	3	2	2	0	0	7		
			割合 (%)	42.8	28.6	28.6	0.0	0.0	100.0		
基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり	③やや達成できなかった	71.4%	項目数	5	0	2	0	0	7		
			割合 (%)	71.4	0.0	28.6	0.0	0.0	100.0		
全 体			項目数	10	5	9	2	0	26		
			割合 (%)	38.5	19.2	34.6	7.7	0.0	100.0		

■は評価の最も多いもの

## 2 総合評価

区分	該当項目数	割合 (%)	総合評価
1 目標を達成	10	38.5	
2 概ね達成	5	19.2	
3 やや遅れている	9	34.6	C 成果があった
4 大幅に遅れている	2	7.7	

総合評価 (100%)



## 3 各取組項目の取組結果等

事業ごとの取組内容等については、次ページ以降のとおり。

基本目標	基本施策	目標指標名	進捗状況				事業名
			達成	概ね達成	やや遅れ	大幅遅れ	
1 ともに支えあいづくり	1 地域福祉の意識の向上	市民学習力レッジの受講者数		●			市民学習力レッジ事業
		地域福祉及び社協会員増強に関する懇談会の開催回数			●		会員増強事業
	2 地域の担い手の育成	ボランティア体験プログラム参加者数	●				ボランティア体験学習事業
		「就学前子育て支援講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数		●			家庭の学びと地域の絆推進事業
	3 地域活動・ボランティア活動等の充実	地域市民活動団体数	●				地域市民活動促進事業
		地域通貨発行事業・サポーター登録数 (高齢者や障がい者、育児中の方など日常で困っている方をお手伝いする「おたすけサポーター(有償ボランティア)」の登録者数)				●	地域通貨発行による地域福祉サービス支援事業
2 健やかに生きるまちづくり	1 健康づくりの支援	体力年齢若返り (筋力アップトレーニング事業における体力測定の結果)			●		筋力アップトレーニング事業
		こころの健康相談利用率 (こころの健康相談利用者数÷こころの健康相談枠数×100)			●		こころの健康づくり事業
	2 地域医療・保健・福祉の体制強化	地域医療連携ネットワークに参加する市民の数			●		地域医療ネットワーク（とねっと）事業
		健康診査受診率 ((受診者数÷対象者数)×100)		●			後期高齢者健康診査事業
	3 スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ教室参加者数			●		スポーツ教室等開催事業
		総合型地域スポーツクラブの設置数				●	総合型地域スポーツクラブ育成事業

基本目標	基本施策	目標指標名	進捗状況				事業名
			達成	概ね達成	やや遅れ	大幅遅れ	
3 安心できるまちづくりが できる暮らすことが	1 支援を必要とする方の把握と支援	自立支援計画達成率（生活困窮者）			●		生活困窮者自立相談支援事業
		権利擁護講座開催件数	●				権利擁護事業
	2 地域の見守り活動や交流活動の充実	ふれあいサロン設置数	●				ふれあいサロン事業
		敬老会参加率		●			敬老会開催事業
	3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進	自主防災組織の組織率 (加入世帯数／組織されている地域の世帯数×100)	●				自主防災活動組織育成・支援事業
		自主防犯組織の組織率（自治協力団体数ベース）		●			自主防犯活動組織育成・支援事業
		公立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施率 公立中学校における中学生交通安全講習会の実施率 参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数			●		交通安全啓発事業
4 福祉やサ すいビ 仕組が み利用 づくり	1 相談支援・情報提供の充実	各相談支援事業所への相談件数（加須市民）	●				障害者相談支援事業
		市のホームページの月平均閲覧件数	●				ホームページ・SNS活用事業
	2 高齢者、障がい者、子育て支援サービス等の充実	民間保育所定員数	●				民間保育所運営委託事業
		公立保育所入所待機児童数	●				公立保育所管理運営事業
	3 地域福祉の仕組みづくり	産後支援ヘルパー派遣事業利用者実人数			●		産後支援ヘルパー派遣事業
		地域ケア個別会議の開催回数	●				地域ケア会議推進事業
		地域ブロンズ会議（第2層）の設置区域数（累計）			●		地域ブロンズ会議事業

10 5 9 2

## 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策1 地域福祉の意識の向上

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等		
					指標(単位)	市民学習力レッジの受講者数 (人)								
1	市民学習 カレッジ事業	【目的】 市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市全体を対象として生涯学習の広がりと深まりを求めた学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民学習力レッジセミナーの実施</li> <li>・加須市生涯学習市民企画委員会の開催</li> <li>・かぞ生涯学習フェスティバルの開催</li> <li>・市民学習力レッジ募集号（ライフステージ）の発行</li> </ul>	2 ・概ね達成	指標(単位)	市民学習力レッジの受講者数	(人)	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の関心の高いセミナーの回数や定員等について検討を行い、参加者数の増員を図る。</li> </ul>		
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)			
	生涯学習課	【概要】 公民館、文化・学習センター等と連携を図り、市民講師や市内講師、市内全域の会場を活用し、趣味的教養的セミナーや現代的、社会的課題を取り入れた総合的な幅広いセミナーを実施。 全市民対象のセミナーを毎年度4月に概ね60セミナーを募集、開講。 生涯学習を循環させるための、生涯学習フェスティバルなどのイベント等を開催する。			目標	—	3,900	3,950	4,000	4,050	4,100			
					実績	—	3,189	4,144	3,875					
2	会員増強事業	【目的】 ともに支え合い、助け合う福祉の街づくりを目指して、社協会員の増強を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に北川辺、大利根支所がそれぞれの地域の自治会長を招き、会費説明会を開催。</li> <li>・6月に加須支所が、地域の社協9支部を招き、会費説明会を開催。</li> <li>・6月に騎西地域の社協5支部が、それぞれの地区の自治会長を招き、会費説明会を開催。</li> <li>・4月から5月にかけて、加須、三俣の2地区的会合に、加須支所事務局職員が出向き、会費をはじめとする募金や社協事業について説明。</li> </ul>	3 ・やや遅れ ている	指標(単位)	地域福祉及び社協会員増強に関する懇談会の開催回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉連携組織等を活かし、民間団体や事業所に社協会費について説明し、法人会員などを増やす取り組みを行う。</li> <li>・地区懇談会等を通して、地域住民に社協会費の使途や目的などの事業周知に努め、会員増強を図る。</li> </ul>		
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)			
	社会福祉協議会	【概要】 自治会、支部社協等地域の協力を得てPRし、会員の増強に努める。			目標	—	16	16	16	16	16			
					実績	—	11	11	10					
<p>【評価の理由】</p> <p>加須地域は、社協支部を通じて、会費協力を地域の自治会に依頼。騎西、北川辺、大利根地域は、それぞれの社協支所（事務局）が、直接、自治会に会費協力を依頼。会費協力を説明する機会が、会員増強運動期間（5月～7月）に集中している。また、30年度より支部の会合へ出向く機会が少なくなっていることなどから、開催回数が目標値に達しなかったため。</p>														

## 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策2 地域の担い手の育成

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No.	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	ボランティア体験プログラム参加者数 (人)						
年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)						
目標	—	300	300	300	300	300						
実績	—	433	495	436								
3	ボランティア 体験学習事業 社会福祉協議会	【目的】 ボランティア体験学習や講座を通し、福祉に対する理解と関心を深め、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、共に生きる人間の育成を目指す。 【概要】 ボランティア体験、育成、研修の実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象：小学生から大人まで夏の「ボランティア体験事業」を実施。</li> <li>通年講座として傾聴講座やこころの健康講座（対象者：小学生～大人）の実施。こころの健康講座はコロナウイルスの影響により、中止。</li> <li>ボランティア団体（視察研修、学習会）への支援。視察研修は、台風の影響により、被災地（東松山市・佐野市）におけるボランティア実践研修として実施。</li> <li>ボランティア交流（双葉町民との交流）。コロナウイルスの影響により、中止。</li> </ul>	1 ・ 目標 を 達 成	【評価の理由】 県全域で取り組んでいる事業で、県社協でもポスターやチラシを作成し県内の公立学校に配布する等、児童・学生の積極的な参加を促してきた。加須市社協でも児童・学生の興味関心が高いプログラムを用意し、参加者を増やす努力をしてきた。その結果、目標指標を大きく上回る成果を上げることができた。当年度は、台風19号や新型コロナウイルスの影響により、通年の講座がいくつか中止になったため、昨年度よりも参加人数は減少している。							・本事業は、夏休みを中心に行なっている講座と通年講座の2つに分けられる。夏休みの講座は、児童・学生の参加が多く盛況であるが、社会人やシニア世代が中心の通年講座は、新規参加者がなかなか増えない。 ・ボランティア団体の後継者が不足しているなど、改善の必要がある。 ・地域共生社会の実現に向け、全世代が、それぞれの立場で活躍できる魅力的な活動や講座を取り入れる中で、通年講座の充実発展を図っていきたい。
					【評価の理由】 各公民館、文化・学習センターで事業計画に基づき実施する家庭教育学級の開催は予定通り実施したことにより、目標としていた延べ参加者数についても、概ね順調に達成し、家庭教育を推進することができた。							・就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級講座等の内容充実を図り、多くの保護者の参加を可能とした。 ・地域により、実施内容が異なるため、実施内容の統一を検討する。
4	家庭の学びと 地域の絆推進 事業 生涯学習課	【目的】 家族・地域の絆づくりの一層の推進のため、「家庭の教育力」と「地域の教育力」の向上を図る。 【概要】 ・家族や地域の絆を深めるために「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」を子育て中の保護者を対象に開催するなど、子どもと親の育ちを応援する学びの機会を充実する。 ・関係団体と連携して絆づくり啓発品を配付しながらあいさつ運動を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>絆啓発講座「就学前子育て講座」「親の学習講座」「家庭教育学級」の内容充実実施（各公民館、各文化・学習センター）</li> <li>市民まつり等のイベントを活用した絆運動のPR</li> <li>関係団体との連携によるポケットティッシュの配付</li> <li>加須市あいさつ運動</li> </ul>	2 ・ 概 ね 達 成	【評価の理由】 各公民館、文化・学習センターで事業計画に基づき実施する家庭教育学級の開催は予定通り実施したことにより、目標としていた延べ参加者数についても、概ね順調に達成し、家庭教育を推進することができた。							
					【評価の理由】 各公民館、文化・学習センターで事業計画に基づき実施する家庭教育学級の開催は予定通り実施したことにより、目標としていた延べ参加者数についても、概ね順調に達成し、家庭教育を推進することができた。							

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策3 地域活動・ボランティア活動等の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No.	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等						
5	地域市民活動 促進事業	【目的】 協働によるまちづくりを推進するため、市民の自主的・主体的な活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域市民活動団体の成長に合わせた助成の実施（地域市民活動支援補助金を5団体へ交付）</li> <li>・市民活動ステーションを拠点とした各団体への活動支援</li> </ul>	1 ● 目 標 を 達 成	指標(単位)		地域市民活動団体数 (団体)											
	年度	28年度			29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)									
	目標	—			70	72	74	76	78									
	実績	—			80	79	79											
	【評価の理由】 補助金の交付や市民活動ステーションによる支援を実施したことにより、地域市民活動支援団体数が目標値を達成したため。																	
	市民協働推進課	【概要】 ・市民の自主的、主体的な地域市民活動への参加を促進し、協働によるまちづくりを推進する。  ・「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。  ・地域市民活動支援補助金を活用し、団体の育成及び自立支援を行う。																
6	地域通貨発行 による地域福祉 サービス支援 事業	【目的】 地域の支え合い（共助）や高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、高齢者福祉の充実を図る。併せて地域商業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょこっとおたすけ券サポート事業の運営支援、利用促進、運営費一部助成</li> <li>・府内（福祉部等）・加須市商工会との連携による事業のPR（取扱店・おたすけサポート募集など）、連携連絡会議での情報交換</li> </ul>	4 ● 大 幅 に 迟 れ て い る	指標(単位)	地域通貨発行事業・サポート登録数 (高齢者や障がい者、育児中の方など日常で困っている方をお手伝いする「おたすけサポート（有償ボランティア）」の登録者数)							• ちょこっとおたすけ券をさらに流通させるとともに、サポートや利用会員を増加させるため、府内関係部局や加須市商工会と連携し、さらなる事業のPRと利用促進に努める。					
	年度	28年度				29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)								
	目標	—				190	200	200	200	200								
	実績	—				91	92	86										
	【評価の理由】 加須市商工会、加須市経済部・福祉部と連携して本事業を実施している。サポート登録実績値は目標値に届かなかったため左記の評価とする一方で、取扱店舗数は若干の増加となり、事業自体は順調に推移している。																	
	産業振興課	【概要】 生活支援を必要とする方をサポートして謝礼として受け取る「絆サポート券(500円)」を市内で流通させ、地域商業の振興を図る。																

## 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策1 健康づくりの支援

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等			
					指標(単位)	(体力年齢若返り (筋力アップトレーニング事業における体力測定の結果) (歳)								
7	筋力アップ トレーニング 事業	【目的】 生活習慣病予防と介護予防の視点を充実させ、医療費の削減効果を目的とし、健康でいきいきと暮らすことができる健康長寿社会を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第17期生募集 加須地域、大利根地域での開催</li> <li>・第17期生の参加者を自主活動へつなぐ支援</li> <li>・筋トレ修了生のトレーニングサポーター養成</li> <li>・自主活動グループ活動の後方支援</li> </ul>	3 ・や や 遅 れ て い る	指標(単位)	体力年齢若返り (筋力アップトレーニング事業における体力測定の結果) (歳)	年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	9	9	9.5	10	10			
	健康づくり推進 課	【概要】 概ね50歳以上の参加希望者に対し、筋トレ健康診査による運動可否判定をおこない、運動が可能な方を対象に体力測定を実施。 個別運動プログラムに基づき、筋力トレーニングとエアロバイクなどの有酸素運動を取り入れたトレーニングを週1回開催する。 筋トレ修了生の後方支援も実施していく。			実績	—	7.1	9.3	7.5					
					【評価の理由】 参加者のうち、体力年齢が17歳若返った方もいたが、若返りがみられなかった方もいたため、平均すると目標値に達しなかった。									
8	こころの健康 づくり事業	【目的】 市民が心身ともにより健康的な生活を送ることができるよう、心の健康づくりを推進し、精神疾患や自殺の予防を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの健康相談の実施（精神科医師や公認心理師による相談）</li> <li>・市民相談室と連携し、合同相談日に公認心理師による相談の実施</li> <li>・自殺予防に関する啓発（ゲートキーパー研修等）</li> <li>・市民相談室を運営し、合同相談日に公認心理師による相談の実施</li> <li>・自殺予防に関する啓発（ゲートキーパー研修等）</li> </ul>	3 ・や や 遅 れ て い る	指標(単位)	こころの健康相談利用率 (こころの健康相談利用者数÷こころの健康相談件数×100) (%)	年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	65	70	75	80	80			
	健康づくり推進 課	【概要】 精神科医師、臨床心理士へ相談する機会を提供する。 また、自殺予防に関する啓発を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携し訪問指導を実施する。			実績	—	51	47	50					
					【評価の理由】 市のホームページにこころの体温計の掲載を継続するとともに、手軽に利用できるよう個人用携帯端末にダウンロードできる仕様とした。 また、こころの健康づくりへの意識づけに努めるとともに、こころの健康相談の周知に努めたが、利用率が目標値に達しなかったため。									

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策2 地域医療・保健・福祉の体制強化

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等		
9	地域医療 ネットワーク （とねっと） 事業	【目的】 地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会事務局費の負担</li> <li>・協議会事務局の支援</li> <li>・県及び中核病院との連携による圏域外住民・医療機関の参加促進</li> <li>・システムの普及・啓発</li> <li>・国のデータヘルス改革の進捗等の確認</li> </ul>	3 ・や や 遅 れ て い る	指標(単位)	地域医療連携ネットワークに参加する市民の数 (人)							<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月1日から歯科医療機関や調剤薬局が「とねっと」に加わったことで、幅広い医療連携ができるようになったため、市民がより質の高い医療サービスを受けられるシステムとし、また、利根保健医療圏域外の住民及び医療機関も含め加入促進に努め、救急面での更なる活用を図る。</li> <li>・システムの実績を検証し、費用対効果の面からのPRを事務局と進めていく。</li> <li>・「とねっと」と在宅医療介護連携システム（MCS）の連結に向けた協議</li> </ul>	
	医療体制推進課	【概要】 ・医療機関及び参加者の増加を図るために、普及啓発を行う。  ・協議会事務局費を負担し、協議会の事務を支援する。			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)			
					目標	—	17,950	20,300	22,650	25,000	25,000			
					実績	—	13,384	13,975	14,469					
10	後期高齢者健康 診査事業	【目的】 後期高齢者医療保険に加入する市民の病気を予防するため健康診査を実施し、受診者の健康維持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度加入者への受診券配布</li> <li>・医療機関への委託による後期高齢者の健康診査の実施</li> <li>・健康診査結果の通知</li> <li>・受診勧奨ハガキの郵送</li> </ul>	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	健康診査受診率 ((受診者数÷対象者数)×100) (%)							<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診と同様のメタボリックシンドローム対策に着目した質問票から、高齢者の特性を把握するための質問票に変更し、加齢に伴う機能低下の予防につなげる。</li> </ul>	
	健康づくり推進 課	【概要】 後期高齢者を対象とした健康診査を実施する。 診査項目：質問票、身体計測、血圧測定、診察、尿検査、血液検査、（その他、医師の判断により心電図検査実施）			年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)			
					目標	—	29	31	33	35	35			
					実績	—	25.4	24.8	27.1					
					【評価の理由】 ハガキによる受診勧奨を適切に実施し、目標値の8割以上を達成できたため。									

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの推進

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
11	スポーツ教室等 開催事業	<p>【目的】 健康の保持増進や体力の維持向上を目指し、スポーツを通して仲間との交流を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。</p> <p>【概要】 市民のスポーツへの関心を高めるため、スポーツ教室を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨガピラティス教室</li> <li>・小学生水泳教室</li> <li>・小学生スキー教室</li> <li>・ヨット・カヌー教室</li> <li>・体験型ニュースポーツ教室</li> <li>・小学生硬式テニス教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピラティス</li> <li>・小学生硬式テニス教室</li> <li>・小学生スキー教室</li> <li>・ヨット・カヌー教室</li> <li>・小学生水泳教室</li> <li>・体験型ニュースポーツ教室（フロアカーリング）</li> </ul>	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)		スポーツ教室参加者数 (人)					<p>・教室の種類、募集方法、時期などを検討し、引き続き、市民がスポーツしやすい教室を開催し、市民のスポーツの関心を高める。</p>
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	840	860	880	900	920	
					実績	—	677	626	509			
					<p>【評価の理由】 スポーツ教室の参加者数は、前年度実績から減少し、目標値の8割に達しなかったが、幅広い年齢層が各教室に参加した。 なお、バドミントン教室は、開催最低人数に達していなかったため、開催できなかった。 また、小学生スキー教室は、市内小学校へ周知したが、例年の半数の参加申込であったため、大幅に減少した。</p>							
12	総合型地域 スポーツクラブ 育成事業	<p>【目的】 多世代にわたる多くの市民が地域で多様なスポーツを自由な時間に楽しめる生涯スポーツの振興を図る。</p> <p>【概要】 既存のクラブに対して、指導員の確保、新たな種目の増設、会員増などに向け支援する。</p> <p>新たなクラブの設立に向け、話し合いの他必要な場所で説明会や研修会を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ設立と自主的運営の支援。</li> <li>・平成国際大学を利用したクラブ設立に向け、検討を進めている。</li> <li>・1クラブが平成31年3月に解散となった。</li> </ul>	4 ・ 大 幅 に 遅 れ て い る	指標(単位)		総合型地域スポーツクラブの設置数 (クラブ)					<p>・平成国際大学を利用したスポーツクラブ設立に向け、関係する平成国際大学教授や関係団体などと検討を行う。</p>
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	3	3	4	4	4	
					実績	—	2	2	1			
					<p>【評価の理由】 会員数の減少により、平成31年3月に1団体が解散している。残りの1団体については、会員数にほぼ変わりはなく、定期的に活動している。</p>							

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策1 支援を必要とする方の把握と支援

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No.	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等						
13	生活困窮者自立 相談支援事業	【目的】 生活保護に至る前の段階の生 活困窮者の自立促進を図る。	・生活困窮者世帯が自立 した生活が送れるよう、 関係機関等と連携し、生 活基盤の調整、就労支援 を実施	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)		自立支援計画達成率（生活困窮者） （%）					・困窮状態が複雑化・深刻 化する前に介入し、早期に 支援が行えるよう、関係機 関等との連携を密にする。 ・生活困窮者と生活保護受 給者に対する就労支援につ いて、一元的に支援する体 制づくりを検討する。						
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)							
	生活福祉課				目標	—	100	100	100	100	100							
					実績	—	20	43	70									
					【評価の理由】 関係機関等と密に連携したことで、実績値が前年度に比べて上昇したも のの、相談者の高齢化や相談内容の多様化・複雑化等により、支援が複数 年にわたるケースが多いことにより、目標値には届かなかったため。													
					指標(単位)		権利擁護講座開催件数 (回)					・長寿化に伴い身寄りの 無い高齢者が増えてお り、増加する相談に対し て、相談体制の拡充・関 係機関との連携強化が必 要となっている						
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)							
					目標	—	4	4	6	6	6							
					実績	—	4	4	7									
	高齢者福祉課	【目的】 高齢者が住み慣れた地域で安 心して暮らし続けられるよう、 権利侵害を受けている人とその 家族に対する支援を適切に行 う。また、身寄りがなく、自ら の権利を護れない高齢者を支 える体制を整える。			【評価の理由】 支援が必要な高齢者に対して適宜必要な支援を行うとともに、関係会議 及び講座を開催する事もできたため。													
14																		

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策2 地域の見守り活動や交流活動の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容								
15	ふれあいサロン 事業	【目的】 高齢者が身近な場所で仲間と 交流できる場を提供し、おしゃ べりや運動の機会を増やすこと で、閉じこもりや認知機能の低 下を予防する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規ふれあいサロンの開設と把握、民間施設の活用</li> <li>サロンの継続活動支援(集会所借上料一部負担)</li> <li>サロン担当者打ち合わせの実施</li> <li>介護予防センター及び健康づくりセンターへの謝金の支払</li> <li>健康づくりセンターへの説明会及び実技講習会の実施</li> </ul>	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	ふれあいサロン設置数 (箇所)							<ul style="list-style-type: none"> <li>市と高齢者相談センターで連携してふれあいサロンの新規開設を進めるとともに、活動継続支援業務等を各高齢者相談センターに委託。</li> <li>介護予防センターとシルバーハウスセンターが養成する健康づくりセンターを新たな扱い手として、サロンの自主運営支援を行う。</li> <li>ふれあいサロンへの実参加者数を高齢者人口の1割とすることを目指し、新規設置と自主支援を行う。</li> </ul> <p>※ サロン参加者実人数(令和元年度末現在) : 2,089人 高齢者人口(令和2年4月1日現在) : 33,123人</p>							
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)									
	高齢者福祉課				目標	—	97	101	105	110	115									
					実績	—	108	114	122											
					【評価の理由】 ふれあいサロンの設置数が前年度から増加し、目標地を上回ることができたため。															
16	敬老会開催事業	【目的】 高齢者の長寿を祝い、健康新 高齢者の維持と生きがいの醸成 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>加須地域は9月上旬から10月下旬にかけて、9ヶ所で式典を開催。開催日は9月13日から17日。対象者は8,775人。</li> <li>騎西地域は9月下旬から10月下旬にかけて5ヶ所で式典を開催。開催日は9月29日、10月4日、10日、17日、18日。対象者は2,727人。</li> <li>北川辺地域は9月16日に式典を開催。対象者は1,806人。</li> <li>大利根地域は10月5日に式典を開催。対象者は2,133人。</li> </ul>	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	敬老会参加率 (%)							<ul style="list-style-type: none"> <li>社協支部が主催し、市内16地区で敬老会を開催しているが、実施方法、助成金にはばらつきがあった。その課題を解決するため、社協支部長会の代表者による事業差異調整委員会を開催し、敬老会助成金について、統一基準を作成した。今後は、新基準に基づき、助成金を交付する。</li> <li>対象者が毎年増え続けており、市補助金も含め、現在の実施形態を継続できるか懸念がある。主催する社協支部からも、事業の見直しも含め、多くの意見をいただいている。</li> </ul>							
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)									
	社会福祉協議会				目標	—	77.1	77.1	77.1	77.1	77.1	77.1								
					実績	—	59.6	60.2	62.7											
					【評価の理由】 会場により参加率にはばらつきがある。地区によっては、対象者全員を収容できない会場を利用しているところもある。会場受付で記念品を引き換える時間を延長する等、参加率向上に努力し続けた結果、過去3年間の実績が少しづつ上がっている状況。															

## 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等							
17	自主防災活動 組織育成・支援 事業	【目的】 自主防災組織の新規結成と既存組織の活動を促進し、地域の防災力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織数:150団体</li> <li>・R1新規設立:4団体</li> <li>・自主防災組織の新規結成と活動支援(出前講座と説明会の実施)</li> <li>・自主防災訓練実施団体数:33団体(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止又は延期となった団体:4団体)</li> <li>・設立までに要する経費、防災用資機材の購入経費及び防災訓練等経費に対する補助金交付(R1訓練補助:31団体、資機材補助:16団体)</li> <li>・防災活動に対する感謝状贈呈</li> </ul>	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)		自主防災組織の組織率 (加入世帯数/組織されている地域の世帯数×100) (%)												
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)								
	危機管理防災課				目標	—	77.8	80.6	83.4	100	100								
					実績	—	81.3	83.2	85.7										
					【評価の理由】 自主防災組織が新たに4団体設立され、目標値を上回ったため。														
18	自主防犯活動 組織育成・支援 事業	【目的】 市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするために、防犯組織の体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防犯組織数:137団体</li> <li>・R1新規設立:3団体</li> <li>・未設立自治協力団体への設立依頼</li> <li>・既存組織への実態調査の実施</li> <li>・地域安全・暴力排除推進大会における団体、個人への感謝状贈呈</li> </ul>	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)		自主防犯組織の組織率(自治協力団体数ベース) (%)												
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)								
	交通防犯課				目標	—	74	76	78	80	82								
					実績	—	73.2	74.9	76.5										
					【評価の理由】 ・新規に3団体が設立され、目標値をおおむね達成しているため。 また、自主防犯組織の設立や活動を促進するため、防犯研修会や防犯パトロール活動の支援を実施したため。 ・令和元年における加須市の犯罪発生状況 【犯罪発生件数】614件(前年比-130件)														

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標①(単位) 市立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施率 (%)		指標②(単位) 市立中学校における中学生交通安全講習会の実施率 (%)		指標③(単位) 参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数 (人)				
19	交通安全啓発事業	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするために、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小学校4年生を対象に、子ども自転車運転免許事業を実施 実施時期：5～6月 対象児童数：899人</li> <li>・市立中学校1年生を対象に、中学生交通安全講習会を実施 実施時期：10～11月 対象児童数：905人</li> <li>・高齢者を対象に参加・実践型の高齢者交通安全教室を開催 ・開催月：5月、7月、1月、2月</li> </ul>	3 ・や や 遅 れ て い る	指標①(単位) 市立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施率 (%)	年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	・引き続き、市立小学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、小学生の交通事故を防止するため、子ども自転車運転免許事業を実施する。
					目標	—	100	100	100	100	100	100	・引き続き、市立中学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、中学生の交通事故を防止するため、中学生交通安全講習会を実施する。
					実績	—	100	100	100				・参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者の募集方法や教室の実施内容などについて検討し、より多くの参加者を募集できるように改善する。
					指標②(単位) 市立中学校における中学生交通安全講習会の実施率 (%)	年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	100	
					実績	—	100	100	100				
					指標③(単位) 参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数 (人)	年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	225	225	225	225	225	225	
					実績	—	185	169	147				
					【評価の理由】 【指標①「1. 目標を達成」】 ・市立小学校4年生を対象に、各交通安全団体と協働し、子ども自転車運転免許事業を実施できた。  【指標②「1. 目標を達成」】 ・市立中学校1年生を対象に、各交通安全団体と協働し、中学校交通安全講習会を実施できた。  【指標③「3. やや遅れている」】 ・年4回、埼北自動車学校や埼玉県防犯・交通安全課の協力のもと、参加・実践型高齢者交通安全教室を開催したが、参加者数が少なかったため。 なお、4回目が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となったが、その参加者を含めると目標値を上回る見込みであった。  ※ 総合評価は、参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数が、目標値の80%未満であり、高齢者の交通安全の啓発をより推進する必要があることから、「3・やや遅れている」とした。								

## 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

### 基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

#### 基本施策1 相談支援・情報提供の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等		
					指標(単位)		各相談支援事業所への相談件数(加須市民)(件)							
20	障害者相談 支援事業	【目的】 在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピュアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービス等利用援助</li> <li>・社会資源活用支援</li> <li>・社会生活能力向上支援</li> <li>・専門機関等の紹介</li> <li>・訪問による継続的なモニタリング</li> <li>・ネットワーク会議(事業所・3市担当者)</li> <li>・障害者相談員による相談会</li> </ul>	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	各相談支援事業所への相談件数(加須市民)(件)	年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度より、北埼玉障がい者生活支援センター(幸生会・共愛会)はいずれも、3障害すべての相談支援を行っている。</li> <li>・委託料の負担割合は羽生市・行田市との3市における人口割・手帳所持割・相談件数割の合計で算出している。</li> <li>・引き続き幅広い相談を受付ける。</li> <li>・困難事例への対応は、事例検討会で情報共有し、相談支援の質の向上に役立てる。</li> </ul>
					目標	—	1,667	1,725	1,776	1,826	1,876			
	障がい者福祉課	【概要】 ・委託 行田市、羽生市との共同設置による北埼玉障がい者生活支援センターが一般的な相談に対応。 ・計画相談 指定をうけた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応。 ・一般相談 指定をうけた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応。 ・身体障害者相談員及び知的障害者相談員を各5名委嘱。			実績	—	2,485	2,917	1,870					
					<p><b>【評価の理由】</b>            福祉サービスや障がい・病気等、様々な相談支援が行われ、障がい者及びその家族の生活を支援することができた。また、毎月、事例検討会を開催し、3市の担当者と相談事業所の職員で困難事例の検討と事例の振り返りを実施し、相談支援の向上に努めた。</p> <p>※ 指定特定相談事業所(障害者)            指定特定相談事業所(障害児)            計</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1,415件</td> <td>455件</td> <td>1,870件</td> </tr> </table>									1,415件
1,415件	455件	1,870件												
21	ホームページ・ SNS活用事業	【目的】 ホームページやSNSを活用し、世界に向けてタイムリーかつスピーディーに加須市の情報を発信し、加須市の認知度を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新の積極的な実施</li> <li>・シティプロモーション推進会議の開催(R1.5.28)</li> <li>・LINEメニューの導入</li> <li>・SNSの宣伝機能、アンケート機能の活用</li> <li>・SNSを有効活用し、行政情報やイベント情報を積極的に発信</li> </ul>	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	市のホームページの月平均閲覧件数(件)	年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に最新情報を提供するため、引き続き、ホームページのタイムリーな更新に努める。</li> <li>・LINEスタンプの追加やインスタグラムへの動画投稿など、更なるSNSの有効活用と、積極的な情報発信を行う。</li> </ul>
					目標	—	202,000	204,000	206,000	208,000	210,000			
	シティプロモーション課	【概要】 更新状況を把握し、各課に対し更新の働きかけを行う。 見やすく分かりやすいホームページ作成に取り組むため、府内研修を実施するとともに閲覧者からのホームページに対する意見を担当課に伝える。 また、SNSで旬な情報や動画をタイムリーかつスピーディーに発信する。			実績	—	280,557	252,415	310,667					
					<p><b>【評価の理由】</b>            市のホームページの月平均閲覧数は、令和元年東日本台風(台風19号)の影響から、過年の推移を超える閲覧数を維持しているため。</p>									

## 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策2 高齢者、障がい者、子育て支援サービス等の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等		
					指標(単位)	民間保育所定員数 (人)								
22	民間保育所 運営委託事業	【目的】 保育を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、保育サービスの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な給付費（当面は委託料）の支出</li> <li>各種加算の認定</li> <li>教育・保育無償化による制度改正への対応</li> </ul>	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	民間保育所定員数 (人)						・各種加算項目の適正な認定を行う。 ・教育・保育施設型給付費の適正な管理を行う。		
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)			
	保育幼稚園課	【概要】 保育所で保育の利用を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支払う。（市内公立保育所を除く）  ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。			目標	—	1,531	1,531	1,531	1,531	1,531			
					実績	—	1,531	1,531	1,531					
23	公立保育所管理 運営事業	【目的】 公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。	保育を希望する乳幼児の保育を公立7保育所で実施した。 令和元年度も待機児童〇人を達成した。	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	公立保育所入所待機児童数 (人)						・計画的に施設の補修等を行い、入所児童が安心して過ごせるために、保育環境を整備する。 ・月途中入所に対応するため、引き続き会計年度任用職員（保育士）の確保に努める。		
					年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)			
	保育幼稚園課	【概要】 公立保育所（7ヶ所）の運営管理。  公立保育所の保育時間  第一保育所、こすもす保育園、第三保育所、第四保育所（7:30～18:30） 騎西保育所（7:30～18:30） 北川辺保育所（7:30～19:30） わらべ保育園（7:30～19:30）			目標	—	〇人	〇人	〇人	〇人	〇人			
					実績	—	〇人	〇人	〇人					

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策2 高齢者、障がい者、子育て支援サービス等の充実

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	産後支援ヘルパー派遣事業利用者実人数 (人)						
年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)						
24	産後支援 ヘルパー 派遣事業	【目的】 核家族化や子育ての孤立化が 進行する中、産後支援ヘルパー を派遣し、出産後間もない産婦 に対し、安心した環境で子育て ができるよう支援する。	・出産後、家事援助が受けられない方に、ホーム ヘルパーを派遣。 ・すくすく子育て相談 室、保健センター、市民 課、各総合支所市民福祉 健康課の窓口や、パネル 展示の際にチラシを配布 し周知を図った。	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	産後支援ヘルパー派遣事業利用者実人数 (人)						・HP、子育て配信メー ル、子育てワクワクフェ ア事業を通し、事業周知 を継続的に行っていく。 ・平成27年度から派遣期 間を1箇月から3箇月に 延長し、派遣回数も15 回から30回に増やし た。また、平成30年度よ り1日のヘルパー派遣期間 を9:00～16:00から1時 間増やし9:00～17:00と した。今後も利用者の要 望等を聞きながら社会福 祉協議会と連絡調整を図 る。
	子育て支援課	【概要】 出産後、家事援助が受けられ ない者に対し、緊急時を含め社 会福祉協議会との調整をし、1 日1回（30回を限度）、午前9 時から午後5時までの2時間の 間、食事の世話、衣類の洗濯、 住まい等の清掃、買い物、沐浴 の介助等の支援をする。			【評価の理由】 利用期間を延長したことで里帰り出産後も利用できるようになったため 申請件数は増加し、申請件数は平成30年度と同数だった。潜在的な需要 は多く、不安解消にもつながっている。しかし、不測の事態に備えて申請 するケースが多く、キャンセルは6割にのぼり目標が達成できなかつたた め。							

## 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策3 地域福祉の仕組みづくり

【評価】は5段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和元年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	地域ケア個別会議の開催回数 (回)						
25	地域ケア会議 推進事業  高齢者福祉課	【目的】 介護支援専門員によるケアマネジメントの質の向上を図ることによって、高齢者の自立、要介護状態となることの予防又は要介護状態の重度化の防止を図る。  【概要】 ・地域ケア個別会議と地域ケア推進会議を開催する。 ・地域ケア個別会議は、市が主催する自立支援型地域ケア会議と高齢者相談センターが主催する地域ケア個別会議を開催する。 ・地域ケア個別会議の開催を通じて地域課題を把握し、地域ケア推進会議にて検討し、今後の高齢者施策を検討する際の参考とする。	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)	
				目標	—	40	40	40	40	40		
				実績	—	25	57	74				
26	地域プロンズ 会議事業  高齢者福祉課	【目的】 何らかの支援を必要とする高齢者を地域で支え合う仕組みを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようとする。  【概要】 ・地域で高齢者を支え合う仕組みについて検討する地域プロンズ会議の設置の促進及び開催支援を行う。 ・地域ニーズの把握と地域資源のマッチング等を行う生活支援コーディネーターを配置する。 ・介護予防・生活支援サービスの担い手となる高齢者等の養成を行う。 ・地域包括ケアシステムに関する普及啓発を行う。	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	地域プロンズ会議（第2層）の設置区域数（累計） ( 区域 )						・生活支援コーディネーター及び高齢者相談センターとの連携を一層推進する。 ・既存のプロンズ会議の運営状況を確認し、意見交換及び情報提供を行う。 ・プロンズ会議未設置地域の住民が「やりたい」と思うような情報を整理し、啓発を行う。	
				年度	28年度	29年度	30年度	R1年度 (決算)	R2年度	R3年度 (目標年)		
				目標	—	0	4	10	16	16		
				実績	—	0	2	5				
				【評価の理由】 第2層プロンズ会議の設置に向けて、地域住民と調整し概ね理解を得て準備を進めているものの、目標値に達しなかったため。								